

例 曲線 $2x^2 + 5xy + 2y^2 - 7x - 5y + 3 = 0$ に対して,

$$\Delta = \begin{vmatrix} 2 & 5/2 & -7/2 \\ 5/2 & 2 & -5/2 \\ -7/2 & -5/2 & 3 \end{vmatrix} = 0$$

となる. 実際,

$$\begin{aligned} & 2(2x^2 + 5xy + 2y^2 - 7x - 5y + 3) \\ &= (2x + (5/2)y - 7/2)^2 - (9/4y^2 - (15/2)y + 25/4) \\ &= (2x + (5/2)y - 7/2)^2 - 1/4(3y - 5)^2 = (2x + 4y - 6)(2x + y - 1) \end{aligned}$$

となり, 2直線をあらわす.

平面上の2次曲線 $ax^2 + 2bxy + cy^2 + 2dx + 2ey + f = 0$ はどの4点も同一直線にないように相異なる5点 $p_0 = (x_0, y_0)$, $p_1 = (x_1, y_1)$, $p_2 = (x_2, y_2)$, $p_3 = (x_3, y_3)$, $p_4 = (x_4, y_4)$ をあたえることにより一意的に定まる. 実際、点 p_i は2次曲線上にあるから $ax_i^2 + 2bx_iy_i + cy_i^2 + 2dx_i + 2ey_i + f = 0$ ($i = 0, \dots, 4$). これより連立1次方程式

$$\begin{pmatrix} x^2 & xy & y^2 & x & y & 1 \\ x_0^2 & x_0y_0 & y_0^2 & x_0 & y_0 & 1 \\ x_1^2 & x_1y_1 & y_1^2 & x_1 & y_1 & 1 \\ x_2^2 & x_2y_2 & y_2^2 & x_2 & y_2 & 1 \\ x_3^2 & x_3y_3 & y_3^2 & x_3 & y_3 & 1 \\ x_4^2 & x_4y_4 & y_4^2 & x_4 & y_4 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \\ d \\ e \\ f \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$$

を得る. $(a, b, c, d, e, f) \neq (0, 0, 0, 0, 0, 0)$ より方程式は非自明な解を持ち、行列式 $= 0$ を得る.

5点を通る2次曲線の方程式は

$$\begin{vmatrix} x^2 & xy & y^2 & x & y & 1 \\ x_0^2 & x_0y_0 & y_0^2 & x_0 & y_0 & 1 \\ x_1^2 & x_1y_1 & y_1^2 & x_1 & y_1 & 1 \\ x_2^2 & x_2y_2 & y_2^2 & x_2 & y_2 & 1 \\ x_3^2 & x_3y_3 & y_3^2 & x_3 & y_3 & 1 \\ x_4^2 & x_4y_4 & y_4^2 & x_4 & y_4 & 1 \end{vmatrix} = 0$$

で与えられる。どの4点も同一直線にないように与えられていることから、 x^2, xy, y^2, x, y の係数のどれかが0でないことがわかる。

例 4点を $p_0 = (0, 0)$, $p_1 = (-2, 4)$, $p_2 = (2, 4)$, $p_3 = (-1, 1)$ で与えるとき、これらを通る2次曲線の一つは $y = x^2$ で与えられる。4点を通る別の放物線は $x^2 + 4xy + 4y^2 - 16x - 17y = 0$ で与えられる。

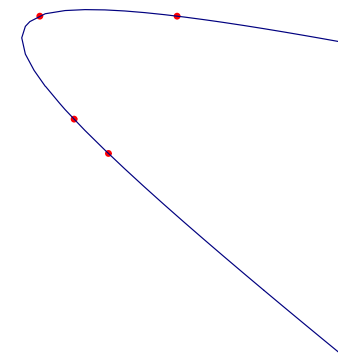
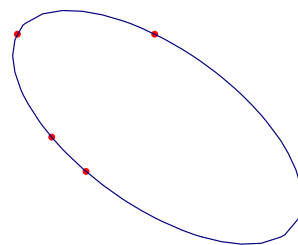
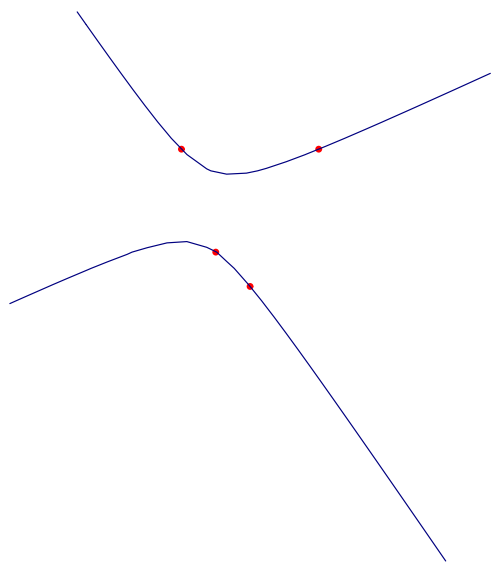
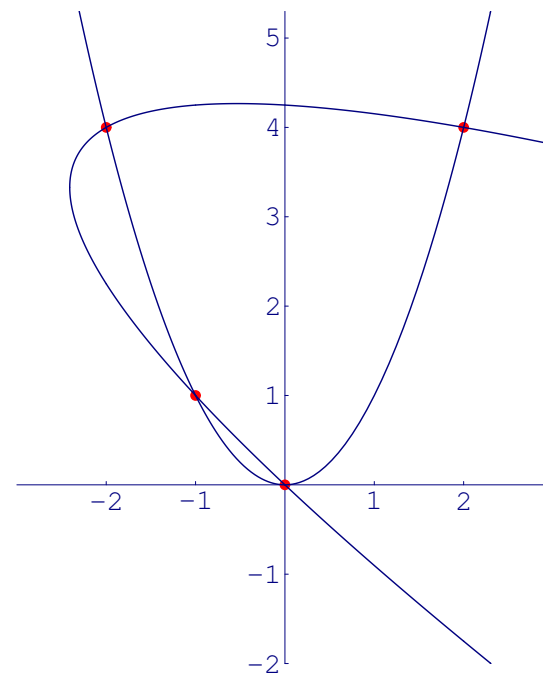
$p_4 = (x_4, y_4)$ を通る 2 次曲線の方程式は

$$-48(x_4 + y_4)(y_4 - 4)x^2 + 48(x_4^2 - y_4)xy$$

$$+ 48(x_4^2 - y_4)y^2 - 192(x_4^2 - y_4)x$$

$$- 48(4x_4^2 - x_4y_4 - y_4^2 + 4x_4)y = 0$$

で与えられる. 5 番目の点 $p_4 = (x_4, y_4)$ の与え方を変えることにより, 2 次曲線は双曲線, 放物線, 楕円, 放物線, 双曲線と変化する.



有理ベジエ曲線

円錐曲線と同様に，空間 \mathbb{R}^2 の $n + 1$ 個の点 b_0, b_1, \dots, b_n と正の実数 w_0, \dots, w_n を与えるとき，有理ベジエ曲線 $x(t)$ を

$$x(t) = \frac{w_0 b_0 B_0^n(t) + \dots + w_n b_n B_n^n(t)}{w_0 B_0^n(t) + \dots + w_n B_n^n(t)} \quad (12)$$

で定義する。

w_i を**重み**， b_i ($i = 0, 1, \dots, n$) を**ベジエ点**あるいは**制御点**， b_i ($i = 0, 1, \dots, n$) で生成される多面体を**制御多角形**とよぶ。

すべての重みが等しいならば，有理ベジエ曲線 $x(t)$ はベジエ曲線となる。

また，有理ベジエ曲線はベジエ曲線と同様の性質，すなわち，アフィン不変性，凸包性，端点一致，対称性をもつ。

例 1. デカルトの葉線は $x^3 - 3xy + y^3 = 0$ で定義される曲線である.

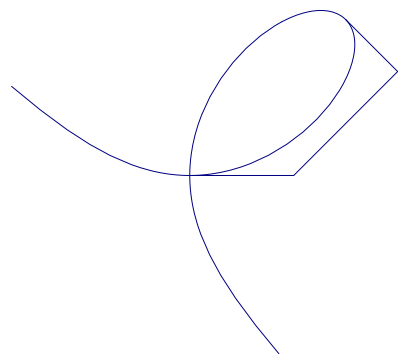


図 11a

これは、次のような制御点と重みによる有理ベジエ曲線である. $b_0 = (0, 0)$, $b_1 = (1, 0)$, $b_2 = (2, 1)$, $b_3 = (3/2, 3/2)$ とし, それぞれの重みを $w_0 = 1$, $w_1 = 1$, $w_2 = 1$, $w_3 = 2$ とすると, $x(t) = (3t/(1+t^3), 3t^2/(1+t^3))$ となる (図 11a).

例 2. アステロイドは $x^{2/3} + y^{2/3} = 1$ で定義される曲線である.

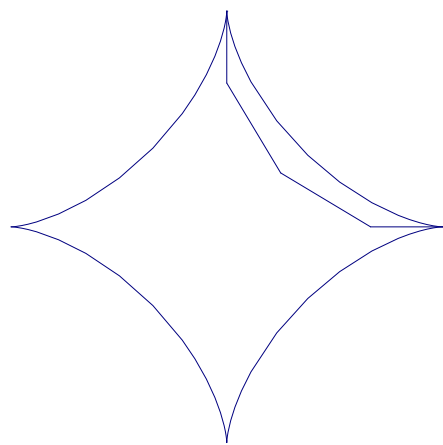
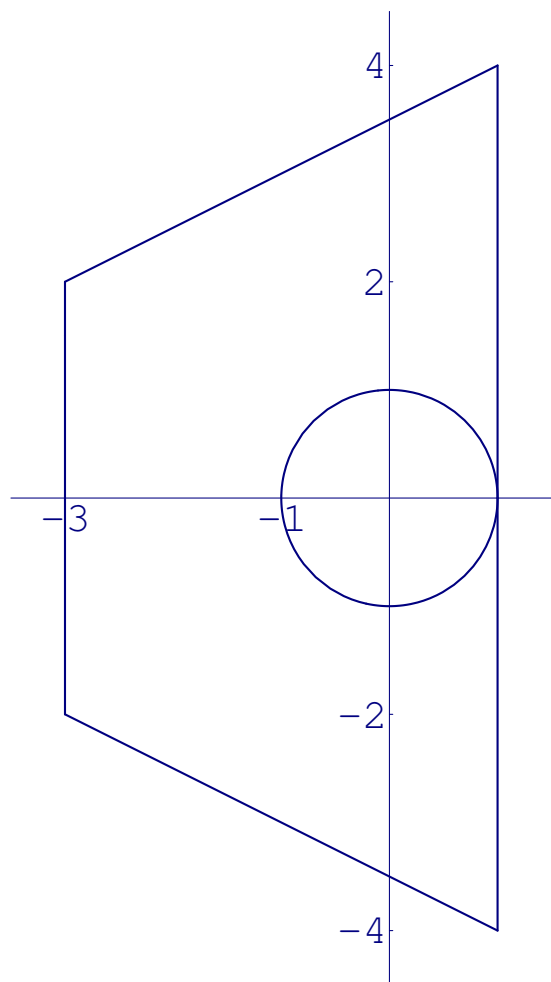


図 11b

これは、次のような制御点と重みによる有理ベジエ曲線である. $b_0 = (0, 1)$, $b_1 = (0, 1)$, $b_2 = (0, 2/3)$, $b_3 = (1/4, 1/4)$, $b_4 = (2/3, 0)$, $b_5 = (1, 0)$, $b_6 = (1, 0)$ とし, それぞれの重みを $w_0 = 1$, $w_1 = 1$, $w_2 = 6/5$, $w_3 = 8/5$, $w_4 = 12/5$, $w_5 = 4$, $w_6 = 8$ とすると, $x(t) = (8t^3/(1+t^2)^3, (1-t^2)^3/(1+t^2)^3)$ となる (図 11b).

例 3. 制御点と重みを $\mathbf{b}_0 = (1, 0)$, $\mathbf{b}_1 = (1, -4)$, $\mathbf{b}_2 = (-3, -2)$,



$\mathbf{b}_3 = (-3, 2)$, $\mathbf{b}_4 = (1, 4)$, $\mathbf{b}_5 = (1, 0)$,
 $w_0 = 1$, $w_1 = 1/5$, $w_2 = 1/5$, $w_3 = 1/5$,
 $w_4 = 1/5$, $w_5 = 1$ で与えると, 有理ベジエ曲
 線は $\mathbf{x}(t) =$

$$\left(\frac{-(2t^2 - 4t + 1)(2t^2 - 1)}{(1 + 2t^2 - 2t)^2}, \frac{4(2t - 1)(1 - t)t}{(1 + 2t^2 - 2t)^2} \right)$$

となり, $(0 \leq t \leq 1)$ を動くとき, $\mathbf{x}(t)$ は
 半径 1 の円をあらわす (図 11c).

図 11c

例 4. 制御点と重みを $\mathbf{b}_0 = (1, 0)$,
 $\mathbf{b}_1 = (1, 2)$, $\mathbf{b}_2 = (-1, 2)$, $\mathbf{b}_3 = (-1, 0)$,
 $w_0 = 1$, $w_1 = 1/3$, $w_2 = 1/3$, $w_3 = 1$ で
与えると, 有理ベジエ曲線は

$$\mathbf{x}(t) = \left(\frac{1 - 2t}{1 - 2t + 2t^2}, \frac{2t(1 - t)}{1 - 2t + 2t^2} \right)$$

となり, $(0 \leq t \leq 1)$ を動くとき, $\mathbf{x}(t)$
は半径 1 の半円をあらわす (図 11d).

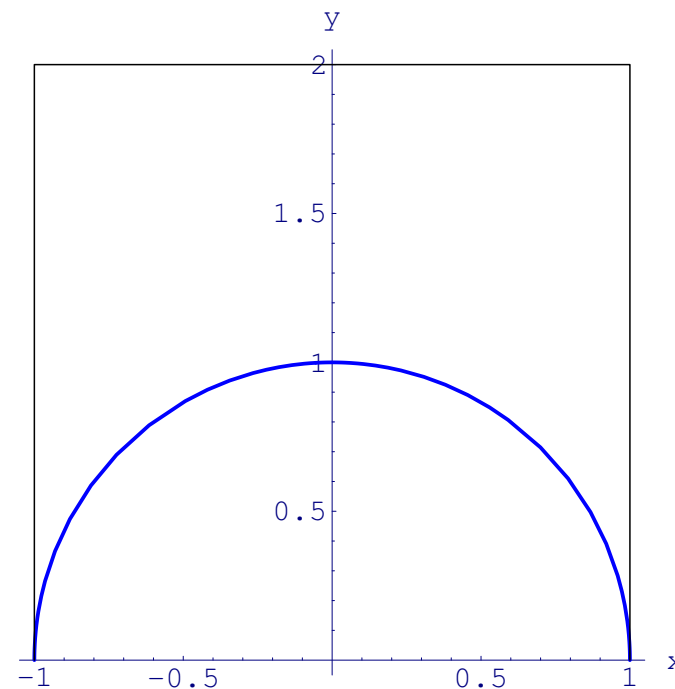


図 11d